

令和3年2月1日

京都府知事 西脇 隆俊 様

日本共産党京丹後市議会議員団 団長 田中 邦生

日本共産党京都府議会議員団 団長 原田 完

京丹後市における高齢者施設のクラスター対策等の強化を求める緊急要望書

新型コロナウイルス感染症の第3波の急拡大のもと、京丹後市など府内各地で、高齢者施設におけるクラスターが発生しています。高齢者施設での国費による社会的な検査の責任を国が果たすことが改めて重要となっています。

また、医療ひっ迫で感染者が入院できずに、施設内で療養する事態や入院待機中や自宅療養者が増加していることについて、コロナ陽性者や家族、地域住民に大きな不安が広がっています。

京丹後市では、市内デイサービス利用者や老人保健施設の入所者・職員など、1月24日時点で63人の感染が判明し、丹後保健所は「複数の施設利用をして人を通じて感染が広がった」とみています。昨年来では、のべ137人が感染し、府内北部でも感染率・数とも群を抜く感染状況となっています。

クラスターが起きた施設では、保健所の指導も受け、消毒や検温など日常の感染防止対策を徹底していたものの、クラスターが発生する事態になりました。

京丹後市議団が緊急に各施設・法人にたいし、検査の有無や対象などについてヒアリングを実施したところ、ほとんどの施設が「全職員や利用者さんに検査を実施したいが、施設の負担が重く実現が困難」と苦慮されています。調査に答えた全員が「行政として社会的検査を公費で行ってほしい」と強い要望を表明されました。

京都府におかれては、1月26日、今後の医療・検査体制の強化対策について、適切な療養環境の確保、および、高齢者施設等のクラスター対策が必要との現状認識を示され、自宅療養者への健康管理支援、高齢者施設等のPCR検査の集中実施を行うこととされ、宇治市において先行実施すると発表されました。制度の運用や枠組みをさらに広げることが、感染防止の最大の方策であると考えます。

上記の状況を踏まえ、以下の諸点について強く要望します。

記

- ①京丹後市においてクラスターが複数で発生しており、今後も予断を許しません。高齢者施設のPCR検査の集中実施を公費で行うこと。そのための検査体制の拡充を行うこと。
- ②自宅療養者や待機中の方への健康観察について、保健所による電話確認にとどまらず、京丹後市や地域医師会・開業医などとの連携と情報共有による支援を行うこと。受け入れ病床の情報開示や、府北部での入院先確保をすすめること。
- ③検査機関や医療機関の情報公開等、市民にたいして適切な情報提供を行うこと。

以上